

平成 25 年度 滋賀県がん診療連携協議会・第 1 回企画運営委員会 結果概要

日 時：平成 25 年 7 月 3 日（水）午後 6 時～午後 7 時 30 分

場 所：滋賀県立成人病センター東館講堂

出席者：成人病センター（鈴木副院長、多胡事務局長）、

滋賀医科大学附属病院（醍醐腫瘍センター長、浅井課長補佐）、

大津赤十字病院（大野副院長、水野課長）、公立甲賀病院（沖野院長代行、小嶋課長）、

彦根市立病院（寺村副院長、廣瀬課長）、市立長浜病院（神田副院長、山岸係長）、

滋賀県健康福祉部（嶋村課長）、緩和ケア推進部会長（成人病センター堀院長補佐）、

がん登録推進部会長（成人病センター水田院長補佐）、

研修調整部会長（滋賀医大 谷教授）、診療支援部会長（滋賀医大 藤山教授）

事務局：成人病センター（医事課地域医療サービス室 田中参事、疾病・介護予防推進室 田中参事、経営企画室 谷本主任主事）

オブザーバー：滋賀県健康長寿課（奥井副主幹）

1 平成 25 年度協議会・部会名簿等について

・事務局から平成 25 年度協議会・部会名簿の説明があり、がん登録推進部会に支援病院が参画いただいた点、診療支援部会に滋賀県放射線治療連絡協議会様に加入いただいた点が主な変更点であるとされた。

2 平成 25 年度 第 1 回事務担当者会議の結果について

・事務局から、今年度から事務担当者会議を創設し、4 月 19 日に開催し、諸般の事務調整を行ったとの報告があった。今後は現況報告作成のタイミング等で開催したいとされた。

3 平成 25 年度以降の協議会および各部会の取組について

・協議会事務局、各部会事務局から今年度の取り組み予定について説明があった。その際、今年度から取り組みを PDCA サイクルで評価するため、アクションプランシートを用いることとされた。

・協議会については、協議会活動の周知、ホームページの活用に取り組むとされた。

・相談支援部会については、がん相談 Q & A の更新、相談支援センター相談員の資質向上、がん患者サロン・ピアサポーター養成講座への協力、セカンドオピニオン提示体制の共有・広報等に取り組むとされた。

・緩和ケア推進部会については、緩和ケア地域連携クリニカルパスの検討、緩和ケアフォローアップ研修会の開催、世界ホスピスデー県民公開講座の開催等に取り組むとされた。委員からは、緩和ケア研修の地域の診療所の医師の受講増が引き続き課題であるとの発言があった。

・がん登録推進部会については、全国集計提出データの精度管理、データ活用、5 年生存率の算定、がん登録実務研修等に取り組むとされた。

・地域連携部会については、地域連携パスの活用、緩和ケア地域連携クリニカルパスの作成、パンフレットの改定、地域連携マップの作成に取り組むとされた。

・診療支援部会については、各病院の機能分担のための調査、高度な医療のホームページ掲載等に取

- り組むとされた。部会長より、機能分担調査については、滋賀県独自の調査項目を検討するとされた。
- ・研修調整部会については、県内のがん関係の研修会等の地域、分野ごとの過不足の検討、がん看護研修の実施等に取り組むとされた。
 - ・委員から、各部会の取組について、滋賀県がん対策推進計画の内容を反映した目標設定をすべきとされた。

4 県からの報告事項等

- ・県健康福祉部から、改定された滋賀県がん対策推進計画および平成 25 年度のがん関連予算の概要について説明があった。

5 第 5 回滋賀県がん医療フォーラムについて

- ・鈴木委員長から資料に基づき説明があった。2 月 11 日にピアザ淡海県立県民交流センターにおいて「滋賀県におけるがん医療の展望」をテーマに 3 部制で行い、第 1 部では愛知医科大学腫瘍免疫寄付講座教授の上田龍三先生に基調講演いただき、第 2 部では滋賀県 嘉田知事、滋賀県がん患者団体連絡協議会 菊井会長、滋賀県がん診療連携協議会 笹田会長の鼎談、第 3 部は講演を行う案が示され、了承された。また、嘉田知事には協議会をまたず臨席依頼を行うことについても了承された。

6 がん診療連携拠点病院整備指針の変更等について

- ・事務局から都道府県がん診療拠点病院連絡協議会で厚生労働省から説明のあった、がん診療連携拠点病院整備指針変更のスケジュールおよび検討会の中間取りまとめの内容について報告があった。

7 その他

- ・委員から、アクションプランシートの記載について、26 年度以降の取組が全て継続となっている点について指摘があり、事務局から 1 年取り組んだ結果をふまえ次年度以降見直すとされた。